

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	障がい者地域生活自立支援センター(ばんそうS&S)あわっ子らんど		
○保護者評価実施期間	令和6年11月11日		～ 令和6年12月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	令和6年11月11日		～ 令和6年11月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月11日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	行事や外出先に工夫を凝らしている。	子どもたちが季節を体感できるように五感に訴える行事内容や外出先を選択している。	安全面に配慮しながら地域資源が活用できるよう連携を深める。
2	保護者ニーズ(利用日や送迎時間の変更など)に小まめに対応していきたいと努力している。	生活上で起こりうる保護者の困り感に対応し、支援していきたい。	職員体制をより充実させて事業所の利便性を高めたい。
3	関係機関との連携をより充実させる。	各支援学校の担任教諭と面談を依頼し、利用児に対し共通認識を持って支援の充実を目指している。	相談支援事業所等を通し、更に地域連携を深めていきたいと考えている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	同性介護ができていない。	同性介護を原則としているが、男性職員がいないため行えていない。	幅広く求人活動を継続していく。
2	地域との関係性が薄い。	防災・防犯の観点も踏まえ、地域住民や関係機関との関係性を深めたい。	外出時の公共施設の利用場面や開催する行事などで工夫を凝らし、開かれた事業運営を図りたい。
3	外部研修や出張への参加調整が困難である。	小規模のため不在時の代替専門職員の確保に苦労している。法人内の他事業所から派遣してもらい対応している。	引き続き法人内の他事業所への協力要請や求人活動を継続していく。